

第5回いばらき米の極み頂上コンテスト 実施要領

1 目的

本県で生産されるおいしさを極めた米を選び出すとともに、その米を首都圏へ売り込むことにより、本県産米のおいしさを広くPRし、認知度を高めることを目的とする。

2 主催

茨城県

3 開催期日及び場所

令和7年11月下旬（最終審査及び表彰式を同日に行う）

水戸京成ホテルを予定

4 応募要領（以下の要件をすべて満たすこと）

（1）応募者資格

ア おいしい米づくりに取り組む茨城県内の個人または法人であること。

なお、法人の場合には、主たる事務所の所在地が茨城県内にあること。

イ 首都圏における販売PR及び販路開拓に意欲的であり、最優秀賞を受賞した際は、営業活動の状況に応じて精米や出荷等に対応できること。

（2）出品要件

①レギュラー米部門

ア 茨城県内で生産された令和7年産水稻うるち玄米（産地品種銘柄）の単一品種とする（別紙参照）。

イ 1経営体（個人、法人）につき2点（1品種1点）までの出品とする。

ウ 出品する品種の作付面積が20a以上あり、且つその平均収量が300kg/10a以上あること。

エ 農産物検査受検済みの米であること。

オ 最優秀賞を受賞した際は、販売PRに使用するため、出品した米と同一品種の米5俵を低温貯蔵でき、且つ1kg以下の精米袋商品で県に提供できること。また、令和8年産米について、出品した米と同一の品種を生産し、精米袋商品で販売できること。

②有機米部門

ア 登録認証機関によって認証された有機農産物又は転換期間中有機農産物であること。

- イ 茨城県内で生産された令和7年産水稻うるち玄米（産地品種銘柄）の単一品種とする（別紙参照）。
- ウ 1経営体（個人、法人）につき2点（1品種1点）までの出品とする。
- エ 農産物検査受検済みの米であること。
- オ 最優秀賞を受賞した際は、販売PRに使用するため、原則として出品した米と同一品種の米5俵を低温貯蔵でき、且つ1kg以下の精米袋商品で県に提供できること。また、令和8年産米について、出品した米と同一の品種を生産し、精米袋商品で販売できること。

5 応募方法

（1）応募申込書 兼 栽培管理記録簿の提出

- ・提出方法：郵送、FAX またはメールによる申込とする。
- ・応募期間：令和7年9月12日（金）～10月10日（金）必着
- ・団体を介した応募の際は、生産者個人の連絡先も併記すること

【提出先】

郵 送：〒310-8555 茨城県水戸市笠原町 978 番 6
茨城県農林水産部産地振興課
FAX：029-301-3939
メール：sansin2@pref.ibaraki.lg.jp

（2）玄米3kgの送付

- ・送付先や送付方法等については、（1）の応募申込書の内容を確認後、個別に通知する（10月10日以降に送付）。その際、「出品番号」もあわせて通知する。
- ・送付期限：令和7年10月24日（金）必着

（3）その他

- ・出品料は無料とする。
- ・提出された玄米は返却しない。
- ・応募に要する玄米や送料等は応募者負担とする。

6 審査方法（詳細は審査規程参照）及び結果公表

（1）1次審査：食味値等の測定（11月上旬）

①レギュラー米部門

分析機器により食味値や整粒歩合等を測定し、順位が上位の米25点を上限として2次審査進出とする。

審査結果は、2次審査に進出した米の「出品番号」を県産地振興課ホームページ（以下、県 HP）で公表する。

②有機米部門

分析機器により食味値や整粒歩合等を測定する。

審査結果は、2次審査に進出した米の「出品番号」を県産地振興課ホームページ（以下、県 HP）で公表する。

（2）2次審査：味度値の測定（11月中旬）

○レギュラー米部門・有機米部門共通

分析機器により味度値を測定し、味度値での順位と1次審査結果の順位を加算して、合計順位得点が低い米をレギュラー米部門から6点、有機米部門から4点ずつ選出し、最終審査進出とする。

審査結果は、最終審査に進出した米の「出品番号」を県 HP で公表するとともに、応募者へ電話連絡し、最終審査当日の出席確認を行う。

（3）最終審査：食味官能評価（11月下旬）

米を精米・炊飯し、審査員（ホテル料理長、食の専門家等）による食味官能評価により順位を決定する。

※コンテスト終了後、出品された米の機器分析結果については県 HP で公表する。その際、原則として氏名、市町村名及び品種名も公表する。

7 表彰（表彰式は最終審査終了後、同日に実施。）

①レギュラー米部門

賞名	賞名の意味	表 彰 基 準
ローズドール賞（最優秀賞）	金のバラ	最終審査において1位の米
アルエット賞（優秀賞）	ヒバリ	最終審査において2位の米
プリュエネ賞（優良賞）	ウメ	最終審査において3位の米
入賞	—	最終審査において4位～6位の米

②有機米部門

賞名	賞名の意味	表 彰 基 準
バイオ・ローズドール賞（最優秀賞）	有機・金のバラ	最終審査において1位の米
バイオ・アルエット賞（優秀賞）	有機・ヒバリ	最終審査において2位の米

バイオ・プリューネ賞（優良賞）	有機・ウメ	最終審査において3位の米
入賞	－	最終審査において4位の米

8 最優秀賞受賞米の取扱

- （1）受賞者の意向や生産量に応じて、効果的な売込み先を検討しながら、都内高級レストラン等への提案やIBARAKI senseにおける販売PR、県ウェブサイトやSNSを活用した情報発信等によりPRを実施する。
- （2）販売・PRに使用する令和7年産の米5俵については、県が買い上げるものとする。
また、具体的な買取価格については別途受賞者と相談の上、決定する。
※優秀賞、優良賞、入賞は表彰のみ実施する。

9 その他

- （1）提出書類に虚偽の申告あるいは不正等が判明した場合は、失格とする。
- （2）最終審査に進出した場合の交通費等は応募者負担とする。
- （3）審査結果については、いかなる場合も異議申し立てを認めない。
- （4）得られた個人情報、本コンテスト選考目的以外には使用しない。
- （5）提出された米に関する栽培履歴や食味値等のデータは、今後の良食味米生産技術の検討に活用する。
- （6）災害や新型コロナウイルス感染症等の社会情勢の状況により、コンテストの開催や審査方法を変更する場合がある。
- （7）その他コンテストの実施について必要な事項については別に定める。

10 スケジュール

内 容	日 時 等	備 考
応募申込受付	令和7年9月12日（金） ～10月10日（金）必着	・応募申込書 兼 栽培管理記録簿等の提出 ・内容を確認後、玄米提出を別途依頼
玄米提出	令和7年10月24日 （金）必着	・玄米3kgを送付 ・送料等は応募者負担
1次審査及び 2次審査 （機器分析）	令和7年11月上中旬	・食味分析機器等により測定
最終審査 （食味官能評価） 及び表彰式	令和7年11月下旬	・2次審査を通過した米の食味官能評価を実施、各賞を決定 ・最終審査終了後に表彰式を実施
売込み及び 販売PR	令和8年1月下旬～	・最優秀賞受賞米の売込み及びPRを実施